



2010年11月15日
独立行政法人海洋研究開発機構

地震防災セミナー「迫りくる東南海・南海地震に我々は何を準備すべきか」 の開催について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤 康宏)は、文部科学省委託事業「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究」の一環として、紀伊半島特有の地震リスクについて、最新の研究成果を明らかにするとともに、住民への防災意識向上を図るため、下記により講演会を開催しますのでお知らせいたします。

記

1. 日時 : 平成22年11月23日(火)10:00～12:30(開場9:30)
2. 会場 : 和歌山県立情報交流センター 多目的ホール
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9
3. 入場料 : 無料(事前登録不要)
4. 主催 : 海洋研究開発機構、和歌山県
5. 後援 : 田辺市、白浜町、和歌山大学
6. プログラム : [別紙](#)

別紙

地震防災セミナー「迫りくる東南海・南海地震に我々は何を準備すべきか」 プログラム

時間	内容	講演者
10:00～10:10	開会の挨拶	前裕 健作(和歌山県危機管理監)
10:10～11:10	「地震研究最前線～必ず来る海溝型巨大地震に備えて～」	高橋 成実(海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト サブリーダー)
11:10～12:10	「地域の地震防災活動について」	此松 昌彦(和歌山大学教育学部 教授)

12:10~12:20	質疑応答	
12:20~12:30	閉会の挨拶	金田 義行(海洋研究開発機構 <u>地震津波・防災研究プロジェクト</u> プロジェクトリーダー)

地震防災セミナーのご案内

＊会場 和歌山県立情報交流センター (ビッグ・ユウ) 多目的ホール

＊日時 平成22年11月23日(祝) 10:00~12:30



和歌山県は独立行政法人海洋研究開発機構と共催で、地域の地震防災対策の向上を目的とした地震防災セミナーを開催いたします。講師には海洋研究開発機構の高橋成実サブリーダーと、和歌山大学防災研究教育センターの志和康彦センター長を迎え、地震研究の最新動向と、和歌山県の地震防災対策の現状についてのご講演をいただきます。ふるってご参加ください。なお、入場は無料、事前登録は不要です。

開催概要

名称：地震防災セミナー
「迫りくる東南海・南海地震に我々は何を準備すべきか」

日時：平成22年11月23日(祝)
10:00~12:30 (受付開始 9:30)

会場：和歌山県立情報交流センター (ビッグ・ユウ) 多目的ホール

主催：和歌山県、独立行政法人海洋研究開発機構
後援：和歌山県、白浜町、和歌山大学
入場料無料、事前登録不要



講演紹介①

「地震研究最新動向～必ず来る東南海型巨大地震に備えて～」
高橋成実 (海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト サブリーダー)

政府によれば、今後30年の間に東南海・南海地震が高い確率で発生し、その被害は莫大なものとなると予測されています。我々はその被害を可能な限り小さくするための取り組みを実施しなければなりません。本講演では、南海の地震津波観測システムなど世界最先端の地震研究をご紹介します。

講演紹介②

「地域の地震防災活動について(祝)」
志和康彦 (和歌山大学教育学部教授 防災研究教育センター長)

和歌山県では東南海・南海地震を想定し、多くの地震防災活動がなされています。みなさんはそれらをご存知でしょうか。防災対策を有効に機能させるためには地域住民の参加・共助が不可欠です。本講演では、地域の防災活動を紹介し、参加者のみなさんと一緒に地域防災について考えてみたいと思います。

お問い合わせ先： 独立行政法人海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト
tel. 040-607-9314 e-mail: donet_info@metec.or.jp

[リーフレット\[PDF: 184KB\]](#)

お問い合わせ先：
 独立行政法人海洋研究開発機構
 (講演会について)
 地震津波・防災研究プロジェクト
 研究企画グループ 技術主任 馬場 俊孝

(報道担当)
 経営企画室 報道室長 中村 亘